



聖霊が新たに注がれるように祈りましょう

ジャン・ペンケレシ神父

6月9日、聖霊が初めて降られたことを祝います。十二使徒はイエスの教えを聞き、復活された彼に出会っても、まだその意図を理解していませんでした。昇天の日はまだダビデ時代の国の復興を夢見ていました。(使1:7)そこで、父の約束である聖霊を受けるまで待つように言い付けて、天に昇られました。弟子たちは心一つにして熱心に、根気強く聖霊が降るのを祈りました。九日目に聖霊が降り、彼らは神の救いの計画を初めて悟り、御父の愛に満たされて、イエスが復活してメシアとして唯一の救い主であることを、大胆に告げました。イエスの救いは初めて人類に授けられ、教会は誕生しました。

結局、御言葉を聞くだけでは、信じることは出来ません。聖霊に照らされ初めて信じるのです。キリスト教の信仰はこのように始まるのです。初めの時も、今日も。

弟子たちは完全な変化を体験しました。後に按手と祈りによって信じる者も同じ体験をします。(使8章;19章)初代教会の教父たちも同じ体験をしたことを度々語っています。信じる全てのものに与えられる賜物です。(使2:39)私たち皆の遺産です!

では、私たちはどうして聖霊の同じ働きを体験しないのですか。同じ聖霊を受けたのに!全能の神とイエスを十分に知らないからです。弟子たちと初代の信者は、すべてを支配する全能の神を固く信じ、イエスの業と教えをよく知っていました。500年の頃までミサは日曜日だけに荘厳に行われ、水曜日と金曜日に旧約と新約の数カ所を長く朗読し、解釈し、詩篇で祈る聖書の夕べがありました。それほどの代価を払ったのです。

私たちは神を十分に知らないために、聖霊が私たちの中に働けないのです。聖霊は何もないところから教えません。心にある御言葉を思い出させ、悟らせ、生かして働かせるのです。私たちは代価を払ったら聖霊の働きを体験します。その代価は神の言葉をよく知ることです。毎日、旧約と新約の各書を順に通読して、できれば聖書研究か分かち合いに参加することです。決断する価値があります!御言葉は命、喜び、力です。

次に、毎日聖霊にすべてを委ねて、御言葉を悟らせ、導いて、強めて、変えてくださるように、心を込めて祈ることです。聖霊は必ず働いてくださいます。できるかぎり、共に祈ること、また経験者に按手してもらうことを勧めます。

新しい聖霊降臨を起こすために召集された第二バチカン公会議の後に全世界で、最初と同じように聖霊の新しい命を体験するようになりました。私も40年前に、按手されて、父なる神の愛を深く体験し、新しい生きがいで信仰を生きるようになりました。教皇フランシスコは全教会の上に新しい聖霊降臨を望んでいることを度々話しておられます。

さあ、神の子として、御国の世継ぎとしての遺産を全部、自分のものにしましょう。

2019年5月度住吉小教区評議会議事録

日時・場所 2019年5月19日(日) 11:04~12:18、第2会議室

始めの祈り

1 星の園幼稚園からの連絡・調整事項

「平成31年度教会借用予定表」が配布され、園長より説明、協力依頼が行われた。

2 エマニュエル神父様からのメッセージ

5/18スペイン語ミサお知らせ時、今年のセニョール・デ・ロス・ミラグロスの日程について、評議会より提案のあった土曜日開催について話したが、参加者数等より困難であるとのことであった。

(本件については評議会では昨年K氏より当初提案のあった10月第2日曜(神戸中央教会バザーと同じ日:住吉コーナーがあるが、恒例の塩蔵わかめの売り上げが激減しており、考え直す時期である)も視野に入れ、調整を継続することとなった。)

3 議事

1 行事予定(ミサお知らせ参照) 追記、変更について 特に無し

2 「家庭集会」準備の状況等(6月4日)

ミサお知らせで告知中。会費一人300円集める。ミサゴのコーヒーを使用するが、不足金が発生した場合の教会補助について承認された。HP、チラシ配布も進める。

3 再宣教150周年閉年ミサについて(6月16日(日)14:00、カテドラル)

引率者、侍者の参加については、全員神戸中央教会へ合同堅信式のリハーサルに出席のため、お知らせのみとし、信徒の自由参加とする。

4 東ブロック合同堅信式準備会の進捗状況報告(6月23日・神戸中央教会)

6月16日(日)14:00、東ブロック合同堅信式リハーサル(同上)

「東ブロック堅信準備会メモ」が配布され、進捗状況について説明が行われた。

6月23日(日)9:00受堅者、代父母、侍者、関係スタッフ集合。

10:00バイリンガルミサ開始。ビデオ担当:A。記録媒体六甲、神戸中央へ

5 平和旬間について教区統一テーマ「平和に寄与する人になろう」(継続)

ミサ中での「平和を求める祈り」を唱える。小プリント配布、携行用。

ミサに続いて、平和に関するDVDの上映検討。良いプログラム検討。

6 「10月の福音宣教のための特別月間を有意義に生きるために何が必要か?」(ヨセフ・アベイヤ補佐司教) 分かち合い(レジメ参照)

関連:6月2日(日)12:15~、ヨセフ・アベイヤ補佐司教講演会

テーマ「出向いて行く教会」になるために—現代社会におけるキリスト者の生き方と活動— 会場:六甲教会聖堂、六甲教会社会活動部学習会

(司祭)福音宣教はいつもである。信者であることについて、どう思っているか。

キリストのメッセージを真剣に受けとめているか。

共同体は栄養であり、信仰を養うために何をしたら良いか、10月に向け、信仰のみんなの現状を把握し、信者としてこれからどうすれば良いか考える。

(各分ち合い)

- ・ミサの大切さ。派遣されて行く。
- ・ミサに与った方々と親しく話せるよう、主日ミサ時、名札着用
- ・信仰生活を歩む指針や祈りの意向のため、住吉教会のテーマを決めること
- ・宣教司牧チームが呼びかけても皆「忙しい」と逃げてしまっている現状がある。

ミサゴの拡充の必要性(一同同意見)

- ・ミサゴが無かった頃、転入したが、午前11時に教会から人がいなくなることに驚きがあった。社会活動チーム、他のスタッフが協力し、もっと教会に残って話したい。
- ・4/28の小教区総会時、ミサゴでお茶を楽しみながらホールで10名ぐらい資料を見て、放送を聴かれていた。赤波江神父様の提案でパウロ三木ホールで小教区総会を実施したこともある。いろんな出席の方法もあってよいと思う。
- ・高齢者等信徒の送迎について、全体で考えていくべきである。家族の中で信者は一人でミサ出席について苦労されておられるケースも多い。
- ・車の送迎は安全対策、事故補償等以前の評議会では万全の自動車保険を車所有者が掛けた上で、協力を呼びかけた。
- ・神戸地区社会活動委員会でも共通した大きな課題である。NPO法人が有料(500円)でミニバスを運行しているケースもある。

(司祭)大切な問題であり、今の現状をみんなから上げてもらって高齢者、子ども、全年齢でアンケート、分ち合い等福音を伝える者となるために教会全体で考える。

「住吉教会の現在とこれからの道」

(分ち合い) チーム、グループでの分ち合いも進めて行く。

7 その他検討、報告事項

- (1) 神戸地区広報誌つながり印刷時、住吉教会への会場印刷機使用料、千円増となった。
- (2) 5/12 神父様歓迎会拡大ミサゴ：お知らせでやはり詳しく案内してほしかった。フレンドリーに ということであったが、信徒にわかりにくかった。
- (3) スリランカ教会支援募金：協力感謝。社会活動チームのミサゴ収益からも募金を行う。
- (4) ミサゴ担当：6月 ふっこうのかけ橋募金開始、7・8月 青少年チーム担当
- (5) 溝部司教様植樹の五島樁の標柱の根本腐食、補修必要
教会入口のシンボルツリー上部立ち枯れ、造園に判断依頼も弱ってきている。
- (6) 香部屋冷蔵庫の老朽化、水漏れ：典礼チームが担当し、買い替えが承認された。
- (7) 車椅子4台パンク修理、信徒の専門業者により修理完了しました。

終わりの祈り

☆次回評議会 6月16日(日) 11:00、第2会議室にて